



紫雲児の心

5月7日（金）に2年ぶりにチャレンジウォーク（28km）を実施しました。

思ったほど気温も上がらず、雨も心配なく、まずまずの状況でした。残念ながら時間切れで完歩することができなかった生徒や途中で足を傷めた生徒もいましたが大きな事故やけがもなく終了することができました。生徒といっしょに歩いてくださったり、要所要所で誘導にあたってくださいたりした保護者の皆様、大変ありがとうございました。学校に戻ってきた生徒の表情を見て、この行事を実施できて良かったとあらためて思いました。翌日の私の体はボロボロでしたが……。



5月の全校朝会から 「人の話を聞く力」

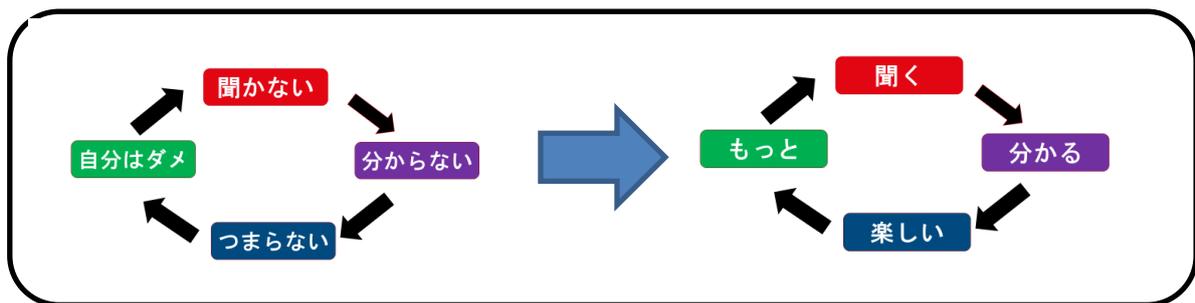
校長 山田 清

20年ほど前に私が勤務していた中学校に、とっておしゃべりな女子が入学してきました。私が担当する理科の授業中もずーと近くの生徒とおしゃべりをしていました。

私も負けじと、注意をし続けました。理科の時間中、ずっと叱られ続けたわけですから、私のことを当時大嫌いだと言っていたそうです。

とうとう私のしつこい注意にギブアップしたその子は、授業中のおしゃべりを止めました。楽しいおしゃべりを止めさせられたその子は、はじめ、とてもつまらなそうな表情で授業に参加していました。そんな状況がしばらく続きましたが、おしゃべりをしていないわけですから、いやでも授業の内容が耳に入ってきます。そのうち、何となく面白そうだなと感じたのかノートを取り出し、さらには自分から積極的に発言するまでになったのです。

すると成績はみるみる向上していきました。最初の通知表では「2」だった理科の成績が、1年生の終わりには「4〇」とあと少しで「5」に届くところまできたのです。



「聞かない」から始まる悪循環から、「聞く」から始まる好循環に変換したわけです。私の転勤で、その子とは1年間のつき合いでしたが、私の転勤を残念がっていたとPTAの役員だったお父さんから聞きました。おそらく、その後もどんどん力を伸ばしていったことと思います。

コミュニケーションには、「書く力」、「読む力」、「話す力」、「聞く力」が必要ですが、その中でも「聞く力」が最も基礎、土台になると思います。そしてその「聞く力」は、大人になってから鍛えようとしてもなかなか難しいのです。中学生のうちにこの力をしっかり鍛え、その上の3つの力も伸ばしてほしいのです。



これからの社会は、他者と協働しながら（コミュニケーションを取りながら）課題を解決していくことのできる人材が求められています。人の話を聞けないということは、自分にとって大きな損失なのです。